

3月の農業情報

タイトル 産地へスマート農業実証プロジェクトの成果を報告

とき 令和4年3月2日（水）

ところ 豊川市

主体・対象 JAひまわりスプレーマム部会（52名）

内容

令和2年度から2年間取り組んだスマート農業実証プロジェクトの成果をJAひまわりスプレーマム部会の研究会で報告しました。本事業には同部会の若手生産者4戸が参加し、収量増大や労働力削減を目指しました。

このプロジェクトでは作付計画・雇用管理・環境制御の3つのスマート農業技術を実証しました。このうち、成果が最も大きく表れたのは環境制御装置（イノチオアグリ(株)製のエアロビート）とミストによるもので、収量を5～13%増加させることができました。

実証を通じて明らかになった「ほ場の湿度を保つ」ことの重要性を研究会で伝えたところ、多くの農家が関心を寄せました。ミストの導入は進んでいないため、今後は既存設備で取り組むことが可能な湿度管理方法の検討を進める予定です。



研究会の様子